

深達度診断の基盤となるバイブル的論文を、ここに初めて得た。隆起型：大きさより高さだ、表面模様だ、それに色も参考にする。それから分化度や癌浸潤部の推定もつく。一方、陥凹型：大きさ、深さ、陥凹縁（輪郭をなす要素）、陥凹底には隆起型の所見を加味する、色も参考にする。以上を、正面像と側面像に整理して考えればよいだけである。

内視鏡診断の正診率と誤診率もわかり、写し出す工夫も教わった。食道壁の伸縮に戸惑っていたX線診断も、内視鏡診断にない機能診断に転用する余地も生まれてきた。超音波診断も、力まずに率直な意見である。

早期とはII型の原型をさす。III型と混合型は進行癌だ。I型とIII型に類早、IIc型に類進があ

る。これで、smを早期癌から外するのが常識的となった。

胃におけるmとsmの鑑別の関係が、食道では、ep~mm₂とmm₃~smの関係、臨床診断学的にはep、mm、smとの関係に対比できる深達度診断になった。胃では、これはmだ、これはsmだ、と言える。食道でも、これはepだ、これはmmだ、と言えそうである。smだとも。この診断総論を柱にして、ミクロの各論を加味した臨床診断が今から展開されるだろう。

各著者の積年の研究成果から、すばらしいマクロ所見のまとめ、病態の臨床的追求が得られた。病理-マクロ-臨床診断が、胃と同じくらいの直結をみたことに感謝する。

胃と腸

3月号（第27巻・第3号）予告

発売予定 3月25日
定 価 1,957円(税込)

主題／腸型 Behçet 病・simple ulcer の経過

- 主 題** simple ulcer と Behçet 病をめぐる最近の知見 福岡大筑紫病院・消化病形態からみた simple ulcer の経時的变化 新潟大・1 病理
腸型 Behçet 病・simple ulcer の臨床経過 九大・2 内
腸型 Behçet 病・simple ulcer の臨床経過 順天堂大・消化
疾病史からみた腸型 Behçet 病と simple ulcer の異同 京都第一赤・2 内
主題症例 回盲部単純性潰瘍の術後に胃・回腸・結腸瘻を形成し再発を繰り返した
1 例 市立豊中病院・外
右側結腸に大きな潰瘍の多発を認めた Behçet 病の 1 例 藤田保健大・消化
回盲部の単純性潰瘍にて手術を受け、11 年後に吻合部近傍に多発性
小潰瘍を認めた 1 例 国立がんセンター・放診
salicylazosulfapyridine の大量投与が有効であった腸型 Behçet 病および
simple ulcer の 4 例 大阪市大・3 内
6 年間の経過観察中に再発を繰り返した腸型 Behçet 病の 1 例 慶大・外
今月の症例 盲腸部の IIa 集簇型早期大腸癌の 1 例 長崎大・2 内

胃と腸（第27巻 第2号）

編 集 早期胃癌研究会

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-91 東京都文京区本郷 5-24-3

☎ 社内案内 (03) 3817-5600

本誌編集室直通 (03) 3817-5714

販売部直通 (03) 3817-5659

1992年2月25日発行(毎月25日発行)

1部定価 1,957円(本体 1,900円)(配送料 81円)

年ぎめ予約購読料 22,320円(本体 21,670円)

(送料弊社負担)

FAX (03) 3815-7802

振替口座 東京 7-96693 番

印刷所 永和印刷(株) ☎ (03) 3813-5001

広告取扱 医界弘報社 ☎ (03) 3814-5771

• Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo. © 1992, Printed in Japan.

• 本誌に掲載された著作物の複写・転載およびデータベースへの取り込みに関する許諾権は医学書院が保有しています。

• 無断で複写・複製・転載すると、著作権の侵害となることがありますので御注意下さい。

(担当) 窪田・渡邊・江口・長谷川